



足尾銅山記念館

足尾銅山最盛期の名建築が令和の世に蘇る
古河グループが礎の地、足尾に記念館を開設

かつて日本一の銅産出量を誇り、国内の産業発展に大きく貢献した足尾銅山。桐生の梅田地区で産出した石灰石が銅の製錬に使用され、大正期には桐生駅を起点とする足尾鉄道（現わたらせ渓谷鐵道）が全通し銅の輸送路を担うなど、足尾銅山の産業史は桐生地域と密接に結び付く。その足尾銅山とともに飛躍を遂げた、古河機械金属株（旧古河鋳業）を核とする古河グループが創業150年を記念し、足尾駅に程近い掛水地区にあった古河鋳業足尾鋳業所の建物を復元。足尾銅山と古河グループの歩みを語り継ぐ「足尾銅山記念館」として、創業150年を迎えた令和7年8月8日に一般公開を開始した。

充実した展示とともに注目したいのが、明治44年に竣工した足尾鋳業所の往時の姿を目指し復元された建物だ。東京駅など数々の名建築を手掛けた辰野葛西事務所が設計した西洋風の堂々たる建物を、膨大な資料を基に当時と同じ素材や寸法で復元。一部の部屋は内装も復元された。この広大な建物は労働争議による暴動の対象となる恐れから大正8年に使用を中止したが、貴重な建築を残すべく足利市へ売却・移築され、大正11年から昭和48年まで約半世紀、足利市役所庁舎として親しまれた。日本の近代化に大きな足跡を残した足尾銅山の歴史とともに、両毛地域にも縁深い至高の名建築が、足尾の地で礎を築いた古河グループの手で、大切に未来へ受け継がれる。

【足尾銅山記念館】

- 住所/栃木県日光市足尾町2281-1
- 電話/0288-25-3800
- 営業時間/9:30~16:00
(最終受付15:00)
- ※事前予約制(電話またはHPより)
- 休館日/火曜日・水曜日
年末年始(12/29~1/3)
足尾町納涼祭(8/13)
他、臨時休館あり
- 入館料/大人1,000円
小・中・高校生 500円
(20名以上の団体 大人700円
小・中・高校生300円)
- HP/<https://www.ashiomine.or.jp/>